



病院だより

第3号
 広報HP委員会
 みよし市三好町八和田山15
 TEL 0561-33-3300
 FAX 0561-33-3308

広報誌刊行のぞあいさつ

いよいよ夏本番となり第3号を発行する運びとなりました。三カ月予報では今年の夏は昨年ほどの猛暑ではないようですが、昨今の原発の影響で節電が望まれるようです。今年もやはり暑さ対策で苦勞しそうです。近年、熱中症で不幸にも命を落とされる方が珍しくありません。今号は熱中症にスポットを当てていますので、是非お読みください。熱中症を予防していただければと思います。

このたび血管造影の機器が最新式に変わることになりました。工事等で皆様は大変御迷惑をおかけしております。今号では新しくなる血管造影についても説明させていただきます。

すでに御存知の方もみえると思いますが、今年の4月1日付けで整形外科の担当医が河南勝久医師から稲森晋平医師に代わり、内科に木村純医師が新たに増員となりましたので御報告させていただきます。お二人から広報誌にコメントをいただきましたので併せて御紹介させていただきます。

広報ホームページ委員会 一同

★熱中症から★ 身を守りましょう

熱中症とは高温・多湿下で発生する病気の総称で、熱失神・熱疲労・熱射病・熱痙攣に分けられます。軽症のものから意識障害を伴う重症のものまであります。平成22年度は全国で1,718名、愛知県内で73名の死亡例があります。また、戸外だけでなく、台所など蒸し暑い室内でも起こりうるのです。この時期、次のような方はご注意ください。

- ① 子供・乳幼児
- ② 高齢者（死亡例の約8割は65歳以上の方）
- ③ 肥満者
- ④ エアコン嫌いの方
- ⑤ 風邪を引いている方
- ⑥ 厚着の方
- ⑦ 普段からあまり水分を摂らない方
- ⑧ 慢性疾患のある方
- ⑨ アルコールや薬物の乱用がある方
- ⑩ 暑い時間帯に屋外で労働・運動をされる方



熱中症にならないためには...

- ① 日傘・帽子を持参する
- ② 戸外では日陰を歩く
- ③ 水分を摂る：室内では30分に一口、戸外では30分に1杯が目安



- ④ 汗をよく吸い、ゆったりとした服装をする
- ⑤ 黒い服・長袖は体温が上がり易いので避ける
- ⑥ 自宅では窓を開ける等風通しをよくする
- ⑦ 自分の体感に頼らず、体温計で実測し、37.5度以上ならば熱中症を疑う
- ⑧ シャワーなどで体を涼しく保つ

熱中症かと思ったら...応急手当

軽症の熱失神・熱疲労・熱痙攣では、身体を冷却すること、塩分（塩・塩飴・梅干し・昆布）と水分の補給をしましょう。点滴が必要になることもあるので、念のため医療機関を受診しましょう。次に重症度とその対処法をあげます。意識障害をとまなうようなⅢ度の熱中症では緊急を要するため、救急車を呼ぶ一方で、早く体温を下げるための処置を行います。

重症度と対処法

重症度	症状	対処法
Ⅰ度	めまい、立ちくらみ、筋肉がふる、汗が止まらない	水分と塩分の補給、涼しい場所で休む、衣服を緩める
Ⅱ度	頭痛、だるさ、吐き気、嘔吐	涼しい場所で足を高くして休む、水分と塩分の補給をしてから病院に行く
Ⅲ度	意識障害、痙攣、手足の運動障害、高体温	すぐに救急車を呼ぶ、来るまでの間に水や氷で血管（首・脇の下・太股）を冷やす、意識ない時は水分は与えない

血管撮影装置を更新

平成13年に導入しました血管撮影装置が老朽化したため、今年の7月に最新式の血管撮影装置を導入しました。

新製品に搭載したフラットパネルは、高分解能かつ高感度であることから、ステントや細かいカテーテルがより鮮明に見えるようになりました。画像の歪みも全く生じないので、血管の詰まっている程度（狭窄率）を精度よく計測でき、より確かな診断と治療を支援することができます。

動画配信し、外来診察室での動画参照が可能となり、検査の内容が患者さんにわかりやすく説明できるようにになりました。



新任のごあいさつ

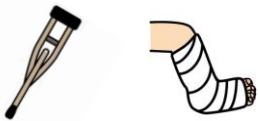
平成24年4月1日より河南先生に代わり、みよし市民病院に赴任することになりました。

3月までは、秋田病院で一般整形外科をやっておりました。その過程で、たまたま骨粗鬆症に関連する疾患に携わることになり、他病院や大学の先生の力をお借りして研究をさせていただいているところです。今、研究していることがすぐに臨床に導入されることは難しいかもしれませんが、将来役立てると信じて頑張っていきたいです。

診察する際には、標準語で話そうと頑張っているのですが、なかなか関西弁訛りが抜けず、上司にしばしば注意されながら日々奮闘しています。

外来では、待ち時間が長くなってしまったことも多々あり、患者の皆さまにはご迷惑をおかけすることもありますが、今後ともよろしく願います。

整形外科 稲森晋平



新任のごあいさつ

初夏、市民の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと思われまします。

4月1日より、内科医師としてみよし市民病院へ赴任になりました。今年の3月まで岐阜県大垣市の大垣市民病院で消化器内科医として勤務していました。これまでは主に消化器領域を中心に歩んできました。消化器は食物の消化と吸収を担っており、生命維持に欠かせない器官です。消化器といえ直に症状が現れると考えられがちですが、胃癌や大腸癌、肝硬変など疾患によっては進行するまで症状を来さないものが幾つもあります。このために早期発見が重要であり、職場や市町村で実施される健康診断で異常が見られたときには早めに外来を受診することを勧めいたします。当院には最新のCT、MRI、超音波検査の機器が導入されており疾患の早期発見に役立てられると思います。消化器症状は内科疾患のなかで呼吸器、循環器疾患にならんで多くみられ、疾患によっては放置すれば重篤な状態に至るものもあります。気になる症状がありましたら、お気軽に内科を受診してください。5年目、まだまだ若輩ではありますが、在任している方々の健康維持に寄与したいと思えます。

内科 木村 純

